

異文化コミュニケーション理解を目指した中国人留学生に 対する観光分野のカタカナ英語に関する研究

A Study of Katakana English of Tourism for Chinese International Students in search of Intercultural Communication Understanding

渡 邊 勝 仁・張 楠
Katsuhito Watanabe, Nan Zhang

[Abstract]

The purpose of this study is to investigate the understanding and the correct writing knowledge of the Katakana English words of the tourism industry. A total of 20 Katakana English words were given to students to listen and write correctly. The experiment was given to 18 students in their 2nd year at a technical school of tourism. The results showed that there were many Katakana words that were difficult for them to write correctly. Moreover, for some of the words, there was not any correct answers. Furthermore, the students were also instructed to write the meaning of the words in Chinese and significant findings from result was revealed that there were more words that the students had no idea in meaning. The Katakana English words need to be thoroughly instructed especially for Chinese learners of Japanese language in the early stage.

[キーワード]

異文化コミュニケーション理解、カタカナ英語、観光分野、中国語母語話者、世界諸英語

1. 目的

近年、我々日本人は今までよりも多くの場面で、英語を話す機会が増え続けている。とくに世界諸英語の観点からは、一昔前まではイギリス英語やアメリカ英語が「英語を学習する」という意味では一般的であった。しかしながら現在では、世界的に英語を話す人口が増え続けていて、特に英語を母語としない人口の増加が顕著である（田中、2017；勅使河原、2014）。英語を話す人口に関して、Kachru（1988）の3つの輪にある1つ目の輪は Inner circle では主に英語母語話者の人口を示すものである。次に Outer circle は、インドやシンガポールなど英語を公用語として使用している国家の人口を指す。最後に Expanding circle は、中国やロシア、さらには日本などの英語を外国語として話す人口である。近年特に Expanding circle の人口が、爆発的に増加しているということである。日本においては、2020年の東京オリンピックに向けて、外国人観光客の数も増え続けている。さらに、来日する外国人は観光客だけではなく、短期・長期的に日本で学ぶ留学生も増え続けている。これらの学生との異文化交流を考えた時、コミュニケーション能力の高さが求め

られ、日本人と外国人の相互理解が重要視される。本研究の目的は、異文化コミュニケーション理解に関して、日本で使用されているカタカナ英語は、外国人にはどれほど理解しやすいものなのかに焦点をあてる。本研究は、観光分野で学習する中国人母語話者留学生を対象とした、カタカナ英語の単語の理解度を検証するものである。

2. 先行研究

カタカナ英語に関しては、多くの研究がされており、その種類は発音など多くの分野にわたっている。細田（2008）は、英語の第一言語話者と第二言語話者のアイデンティティを会話の中で観察した。その中で、カタカナ英語がどのように使われているかを検証した。その結果、カタカナ英語をどのように発音するかは、お互いの秩序に基づいているとしている。また、須部（2013）は、カタカナ英語の間違った使い方や発音の間違いを指摘している。さらに、カタカナ英語だけではなく単語の一部が日本語である例なども紹介している。結果的に多くの研究者は和製英語に関しては否定的ではあるが、純然たる日本語でさえもカタカナで表記する場合もあるほどカタカナで表記するものも多くなっている。さらに、外国人日本語学習者に対するカタカナ英語の学習に関する研究では、陣内（2008）の研究結果からカタカナ英語の教育には第一言語の介入があり、母語による大きな違いがある。英語母語話者とアジア諸国を第一言語とする学生では、大きな差が出るとしている。池谷・久津木（2014）は、カタカナ英語の習得は辞書に載っていないので、帰納的にするしかないとしている。最後に、中国語母語話者に対する日本語学習に関して、王（2011）は、カタカナ英語の習得困難な要因は、中国語という言語の特性によるものであるよりも、自国語に外国語を取り入れる際、音訳を避け、意識を促進してきたことにあるとしている。言語政策による初級の早い段階で、カタカナ表記の外来語の導入が不可欠である重要性を提唱している。また、陳・坂西（1992）の調査からの結果では、中国人母語話者の3割以上の調査協力者はカタカナを書くことが最も困難であるとしている。これらの研究結果から、中国語母語話者にはより早い段階でカタカナの導入が不可欠であり、また、指導することが重要である。本研究の研究課題は、観光系の専門学校で学ぶ中国語母語話者は、観光分野のカタカナ英語を聞いて書き取る際の正確性はどの程度であるかを検証することである。

3. カタカナ英語の書き取り調査

本項では、調査協力者、調査材料、実験方法、最後にデータ収集方法の4つの項目に分けて、説明する。

3.1 調査協力者

東京都内の観光系専門学校の中国語を母語とする2年生、男女合計18名（ $n=18$ ）が対象である。中国語を母語とする学生の中には、標準語を話す地域出身者（ $n=12$ ）、香港出身の広東語を話す

学生1名（ $n=1$ ）、また台湾出身者2名（ $n=2$ ）が含まれている。さらに中国出身ではあるが、カナダ・アメリカで長期間育ったのちに来日している学生3名（ $n=3$ ）も含まれている。日本での日本語を学習した期間を含めた滞在期間は、各学生により異なる。

3.2 調査材料

調査材料は、2つに分類される。1つ目は、学生に聞かせる「音声」で、2つ目に学生が聞いたカタカナ英語を記入する「書き取り調査票」である。

1つ目の音声に関しては、本研究の対象となった20個のカタカナ英語の単語を、日本語母語話者である筆者の一人が2回ずつ録音した。使用した20個のカタカナ英語の単語と順序は、以下のとおりである（表1参照）。また、本研究で使用したカタカナ英語の単語は、「ホテルスタ¹」からである。

表1 カタカナ英語の単語

1	アラカルト	11	チップ
2	コリドー	12	ツインルーム
3	スーペリア	13	パレットパーキング
4	パーシャルオーシャンビュー	14	カツレツ
5	デザート	15	バンケットルーム
6	リファンド	16	ブッフエ
7	レセプション	17	プチホテル
8	キチネット	18	ホスピタリティ
9	ベキンダック	19	モーテル
10	コンシェルジュ	20	デポジット

2つ目の書き取り調査票に関しては、A4普通紙片面にカタカナ英語の書き取り用の単語を記入する欄を合計20個設け、各単語に対してその単語の意味を中国語で書かせる欄をさらに20個設けた（参考資料参照）。これらの単語は5つのごく一般的な観光業界で使用されるものと、15個の主にホテル業界で使用されるものの合計20個である。その理由として、全20個の単語をホテル業界の専門用語にしてしまうよりも、いくつか観光業界全般で使用されている単語も含めることにより、より良いデータ収集を行うためである。

3.3 調査方法

1つの単語に関して設けた時間は30秒で、合計10分間の録音音声で実施した。録音の音声は、「アラカルト、アラカルト、……………」のパターンで、30秒後に次の単語に移る流れであった。学生には、最初に各単語に関して2回ずつ音声聞こえてくるので、書き取り調査票の左側の欄にはカタカナを記入し、右側の欄には中国語の意味を書くことを伝えた。最後に、公平でより正確なデータを収集するため、授業の評価とは関係ないことを伝えた。

3.4 データ収集方法

各カタカナ英語の単語に関して、基本的には正しく記入されているものを正として、それ以外を誤とし、問題の解答が正しかったもののみ集計した。集計の種別として、(1) カタカナ英語正解答、(2) 中国語での意味の正解答であった。ここでの「解答が正しかった」という定義について、述べておく必要がある。カタカナ英語には、チップなどの小さい「ツ」で表す促音や、チープなどの「ー」で表す長音符があるが、これらの欠損も誤解答とした。しかしながら、「スーペリア」などの長音符を「スウペリア」にあるように「ウ」で表した場合、正解とした。ほかにもこのような例外が存在したが、これらに関しては5. 考察で、詳しく述べることとする。

4. 結果

全体的な結果として、20個のカタカナ英語の単語の書き取りに関しては、正解答に大きなばらつきがあった(表2参照)。正解答が多かった上位5つの単語とその正解数は、デザート・カツレツ(15)、アラカルト(10)、キチネット(9)、ツインルーム(7)であった。デザートは、

日本に住んでいれば、単語デザートはあらゆるレストランやコンビニエンスストアなどで目にする単語である。調査協力者合計18名での正解数15であることから、ほとんどの中国人母語話者がこの単語には、慣れているようである。しかしながら、カツレツに関してはあまり一般的な単語ではないであろうと考えられるが、正解数は15と本研究の最上位であった。このカツレツは、多くの場合、チキンカツや豚カツなど短縮形が使用されることが多い。アラカルトはレストランで 사용되는カタカナ英語の単語であるが、メニューなどで記載されていることが多く、書きやすい単語だったと考えられる。しかしながら、キチネットはごく一部のホテルの部屋に付属する設備であり、あまり一般的なカタカナ英語の単語とは考えられないが、半数の正解答があった。最後にツインルームは、「ツイン」と「ルーム」の複合語であるが、ツインの部分知らない調査協力者が多かったと推測される。正解答の少なかった下位5つの単語とその正解数は、コリドー・パーシャルオーシャンビュー(0)、リファンド・バレットパーキング(1)そして、モートル・デポジット(2)であった。コリドーは、ホテルなどの廊下の意味であるが、あまり一般的ではないと考えられ、正解数も0であった。パーシャルオーシャンビューに関しては、3つの単語の複合語でもあり、日本ではオーシャンビューはよく聞く単語であると考えられるが、中国人母語話者には、複合語であったことと特に、パーシャルの単語が難易度を高めた原因であると推測できる。リファンドに関しては、ホテル業界に限定されず、金融関連の単語として幅広く使用されているが、正解数は1であった。しかし同じ正解数のバレットパーキングは、日本のホテルでは、あまり聞かれない単語であると考えられるため、正解数もあまり高くなかったのではないかと推測される。最後にモートル・デポジットであるが、これらもあまり一般的に使用されていないと考えられ、正解数は少なかった。

中国語の意味に関しては、カタカナ英語の書き取りよりも大幅に正解数が低かったことがわかった。本研究の大きな成果の1つであることが言及できる。正解数の上位5つは、デザート(15)、ペキンダック(14)、ツインルーム(10)、buffet(6+1*)、モートル(5+2*)であった。デザートに関しては、カタカナ英語の書き取りと両方で最上位に位置している。合計18名の調査協力

表2 カタカナ英語の単語正解数 ($n=18$)

カタカナ英語の単語	書き取り	中国語の意味
デザート	15	15
カツレツ	15	0
アラカルト	10	0
キチネット	9	0
ツインルーム	7	10
ペキンダック	6	14
バンケットルーム	6	0
プチホテル	6	0
ホスピタリティ	5	0+ (3 英)
チップ	5	1
レセプション	5	0+ (2 英)
スーペリア	4	0
コンシェルジュ	4	0
ブッフェ	3	6+ (1 英)
モーテル	2	5+ (2 英)
デポジット	2	4+ (2 英)
リファンド	1	0
バレットパーキング	1	0
コリドー	0	0
パーシャルオーシャンビュー	0	3

者での正解者 15 名であることから、80%以上の確率である。さらにペキンダックでは、ペキンという単語の表記があまり一般的ではなく聞きなれていないと考え、あえて 20 個の単語を選んだ。その理由として、北京は英語表記では Beijing となり、読み方も「ベイジン」なので、日本に在住する中国語母語話者には当てはまらない推測であったようである。ツインルームも複合語であるが、ルームの部分理解しやすいことからツインを理解できた約半数の調査協力者は正解したと考えられる。ブッフェに関しては、日本のホテル内のレストランなどでよく見かけるので、ブッフェでの食事を経験したことがあると考えられる。最後にモーテルも、ホテルと同じような宿泊施設として、正解者は精通していると考えられた。

5. 考察

本項では、カタカナ英語の書き取りと、中国語の意味の 2 つのセクションがあるが、あらゆる角度から各単語について詳細に考察する。カタカナ英語の書き取りに関して、正解数が 0~3、4~7、そして 9~15 の 3 つに分けて考察する。

最初に正解数が 0~3 の 7 つの単語に関して考察する。表 2 からわかる通り、正解数が 0 であった単語はパーシャルオーシャンビューとコリドーであった。まずパーシャルオーシャンビューに関してだが、先の 4. 結果でも述べたように、3 つの単語からなる複合語であり、3 つからなる複

合語は正確に書き取ることが困難であったと考えられる。特に南の島系の南国への海外旅行の際、ホテルに宿泊するときの重要な選択項目になることが考えられ、この単語を選択した。しかしながら、観光専門学校に所属する学生には、オーシャンビューでは正解率が高すぎると考え、パーシャルを含む単語を選択した。しかしながらその結果は正解数0という結果になった。語頭の中には「パーシャルオーシャンブー」や「ファッションオシャン ビュー」、「パシャルオシャンビュ」など、正解に極めて近い解答も見受けられた。しかしながら、これらの3名の調査協力者は中国語の意味の欄が空欄であり、意味は理解できていなかったようである。単語コリドーも書き取りの正解数が0であった。パーシャルオーシャンビューと比較すると比較的短い単語であり、難易度は低いと推測される。この単語に関しては、唯一中国語の意味の正解数も0であった。さらに特筆すべきは、18名すべてが空欄で調査票を提出した。次に、バレットパーキングとりファンドの正解数はともに1であった。バレットパーキングに関しては、英語表記では“valet parking”となり、カタカナ表記にした場合「ヴァレィパーキング」である。バレットは間違った発音をカタカナ英語にしてあり、さらに調査協力者を混乱させている。その結果、正解数が1と低かったと推測される。誤解答に多かった例は「アレットパーキング」であり、単語の最初の子音である“b”は有声音の破裂音であるにも関わらず、聞きとりが困難であった可能性も考えられる。リファンドに関しては、中国語の意味の正解数を0としたが、英語で記入している調査協力者が数名確認され、それらの答えはスベルミスがあったため正解数を0とした。しかしながら、意味的には“refund”ととれる間違いが多かった。その結果、リファンドというカタカナ英語は、意味的に理解できていてカタカナ表記が困難だったと考えられる。次に、デポジットとモートルの2つが、正解数ともに2であった。これらの単語も、中国での英語教育の場では多くの学生が発音記号を学ぶことから、よりネイティブの英語を聞きなれていると考えられ、カタカナ英語の表記に問題があるため正解数が低かったのではないかと考えられる。カタカナ英語の単語デポジットは、英語表記では“deposit”で、カタカナ英語表記では、「ディポズィット」が正しい発音に近く、最初のカタカナは「デ」ではなく「ディ」である。しかしながら、「デ」と書けていた調査協力者は多く、これよりも問題なのは「レポジット」など、「レ」と記入した解答である。その理由は、日本語のら行の子音は英語母語話者に聞かせると、英語の“d”に近い音に聞こえることが多い。次のモートルでは、正解数が2つであったが、多くの解答には「モテル」や「モデル」があり、典型的な超音符の誤解答であった。しかしながら、中国語の意味では、正解数が5であり英語で書いた正解数を含むと7であった。最後にbuffetであるが、レストランなどでよく見るカタカナ英語の単語であると考えられるにもかかわらず、正解数が3でありかなり低い数値であった。この単語も英語の発音に近い表記にすると、「buffeー」または「バッフェー」と最後に超音符を付すとよい。この単語は、フランス語からの外来語であり、“buffet”と表記するが、第2音節にアクセントを置く単語である。本研究では録音音声は「buffeー」であったので、「buffeー」と解答したものは不正解であるが、この表記をした調査協力者が1名見受けられた。また、不正解の解答には「buffe」が多かった。日本語の促音は、習得が重要であると考えられる。中国語の意味の正解数は英語の表記も含むと7であった。

次に、4~7の正解があったカタカナ英語の単語について考察する。このセクションの単語は9個であり、全3セクションでは最も多かった。正解数が4であった単語はコンシェルジュとスーパーで、中国語の意味の正解数は0であった。誤答の中には、コンセルジョやスーベリアなどがあ

った。正解数が5であった単語は、レセプション、チップ、ホスピタリティであり、中国語の意味は、チップが1でその他は0であった。これら3つの単語の意味はほとんどの学生が理解していなかったことになる。レセプションに関しては、リセプションも正解とした。その理由として、リセプションはより英語の発音に近いためである。チップに関しては、cheap との誤答が多かった。この単語の英語の発音は、ティップにより近いいため語頭の子音である“ch”で勘違いしたと考えられる。ホスピタリティに関しては、調査協力者が観光系の学生であったため、さらに高い正解数が推測されたが、このような結果となった。次の3つの単語はプチホテル、バンケットルーム、ペキンダックで、正解数が6であった。中国語の意味は、ペキンダックが、14で、その他は0であった。4. 結果でも述べたように、ペキンは中国語の発音である北京と比べると異なるが、自国の代表する食事だということか正解数が多かったと考えられる。最後に、ツインルームである。正解数は7で、中国語の意味は10でありペキンダックと同じく、中国語の意味の正解数がカタカナ英語の正解数を上回った。

最後に正解数が9～15の単語である。最初に正解数が9であった単語は、キチネット中国語の意味の正解数は0であった。これは、アラカルト、カツレツでも同じ結果であった。カタカナ英語に聞きなれているが、意味が分からない典型的な結果である。キチネットの誤解答は、キッチンが多く、この理由はキッチンにはもともと促音である小さい「ッ」が含まれているので注意深く聞かずそのまま書いたと考えられる。アラカルトはレストランのメニューなどで多く見かける単語なので、正解数が多かったと推測される。この単語に多かった間違いは、アラカルドであったが、無声音と有声音の違いだけの“t”と“d”なのでおそらくしっかり聞こえていたと考えられる。カツレツとデザートは、正解数がともに15であり、本稿では最も多かった。しかしながら、中国語の意味は、カツレツが0でデザートは15であり、大きな差があった。カツレツは、あまり聞かない単語であるが聞き取りやすい単語であったといえる。最後にデザートは、ボーナス問題ともいえる日本に住んでいればどこにいても聞く単語であるが、英語の発音からは大きく異なる。英語の音は、「ディザート」に近いためである。

6. まとめと今後の課題

本研究で明らかになったカタカナ英語の書き取りと意味に関して、間違った使い方や発音の誤った理解があった。先行研究にあったように、カタカナ英語の教育に関して母語による違いがあるとしていて、本稿での調査協力者の母語は中国語であったためにあまり一般的ではない英語からの外来語に慣れていない者がほとんどであったといえる。また、その要因は中国語という言語の特性によるものではなく、自国語である中国語に外来語を取り入れる際に、意識を取り入れることを促進してきたことにある。今後の課題として、日本語学習の初期の段階でカタカナ表記の外来語をより多く取り入れることが考えられる。

[注]

1 ホテルスタ <https://hotelista.jp/concierge/dictionary/?fbclid=IwAR0S531oWEB77u9DZNSLZReZBdfZZoN6C>

dRXveG3wsoJD-UIWa1xi0lC850

参考文献

- 池谷知子, & 久津本文. (2014). 英語を母語話者とする日本語学習者におけるカタカナ語の研究 (II) – 習得しやすいカタカナ語と習得しにくいカタカナ語 –. *Theoretical and applied linguistics at Kobe Shoin: トークス*, 17, 27-45.
- 王仲子. (2011). 中国語母語話者の日本語外来語彙習得に関する諸問題. *専修人文論集*, 88, 1-15.
- Kachru, B. B. (1988). The sacred cows of English. *English Today*, 4 (4), 3-8.
- 陣内正敬. (2008). 日本語学習者のカタカナ語意識とカタカナ語教育. *言語と文化*, (11), 47-60.
- 須部宗生. (2013). カタカナ英語と和製英語 - 最近の傾向を中心として. *環境と経営: 静岡産業大学論集*, 19 (2), 127-137.
- 田中実. (2017). 日本人がめざすべき英語. *川村学園女子大学研究紀要*, 28 (3), 13-25.
- 陳西梅, & 坂西友秀. (1992). 中国人留学生の日本語学習における困難: 漢字・ひらがな・カタカナの習熟. *埼玉大学紀要. 教育学部. 教育科学*, 41 (1), 37-46.
- 勅使河原三保子, & テシガワラミホコ. (2014). 日本語母語話者の「通じる」英語発音とは: intelligibility に関する研究の整理. *駒澤大学外国語論集*, (17), 39-54.
- 細田由利. (2008). 「第二言語で話す」ということ: カタカナ英語の使用をめぐる (＜特集＞相互行為における言語使用: 会話データを用いた研究). *社会言語科学*, 10 (2), 146-157.

参考資料

観光に関するホテル系の単語書き取り調査

これから、観光に関するホテル系のカタカナ英語 20 個を、2 回ずつ 30 秒間隔で、聞いていただきます。下の空欄に単語を書いてください。また、中国語の意味も書いてください。

	カタカナ英語	中国語
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

ご協力ありがとうございました。